



メダカは、育てやすい魚ですが、自然ではない水槽などの人工の空間では、人間がめんどろをみてあげないと生きられません。だから、ちゃんとお世話をしてくださいね。

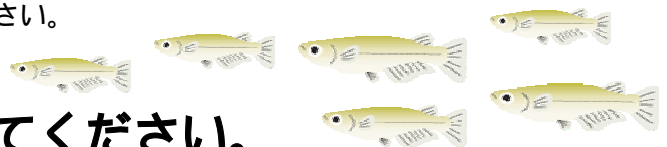
また、お子さんが飼いたいと言った場合は、大人がお子さんと一緒に世話をしてあげてください。子供と一緒に世話をするのが大変だからと言って、手伝わせないのはよくないと思います。面倒でもお子さんの能力にあったお手伝いをさせてあげてください。

水は、メダカの体のまわりにいつもあり、体の中にも入るものですから、ことさら神経質になる必要はありませんが、気を付けてあげてください。水道水でかまいませんが、半日ぐらい汲み置きをした水を使ってください。メダカを移すときは、できる限り同じ水温をお願いします。

餌は、市販のもので大丈夫です。メダカの口の大きさに合った餌を与えてください。餌が大きいときは指で小さくつぶしてあげてください。餌のあげすぎに注意しましょう。食べ残しがあると、水が腐ってメダカが死んでしまいます。

酸素が必要です。メダカも生き物ですから酸素を吸って二酸化炭素をはき出しています。水の中の酸素を吸収して生きています。狭い入れ物に沢山入れなければ時々の水換えで大丈夫です。エアープンプで酸素を供給するときは、あまり激しくしないで下さい。メダカが落ち着いて生活できません。水草があれば、光合成により酸素をつくりますが、光合成には光が必要です。

勉強のために飼い方を自分で調べてみてください。メダカのことをよく分かるようになります。かわいそうですが、失敗して死なせてしまうことがあっても良いと思います。ただ、同じ間違いを繰り返さないでください。



これだけは絶対に守ってください。

飼えなくなったからと言って、絶対に池や川などに放流・逃がさないで下さい。そこにメダカがいると言っても、以前からそこにいたメダカ以外の放流は、生態系の破壊につながります。最期まで世話をしてあげてください。どうしても飼えなくなった時は、極端なはなしですが、あなた自身が(こんな言葉を使いたくないのですが)「殺す」覚悟が必要だと思います。

メダカはかわいい生き物です。寿命は色々言われていますが、中には3年以上生きるメダカもいます。また、子供もたくさん生まれます。過保護にならないようにお世話をし、仲良く暮らしてくださいね！